

方法

- 動物 : マウス C57BL/6J ♂
週齢 : 9 齢
方法 : マウスに通常の水の代わりに20%或いは50%グルコース溶液を28日間飲水させる.
群構成 : 水飲水群, 20%グルコース飲水群, 50%グルコース飲水群 各群10例
測定項目 : 体重, 摂餌量, 内臓脂肪(精巣周囲, 腎臓周囲), コレステロール, 遊離脂肪酸, 血糖値, HbA1c
データ処理 : いずれもt検定を用いて有意差検定を実施した. 図は平均値±標準誤差で表している.

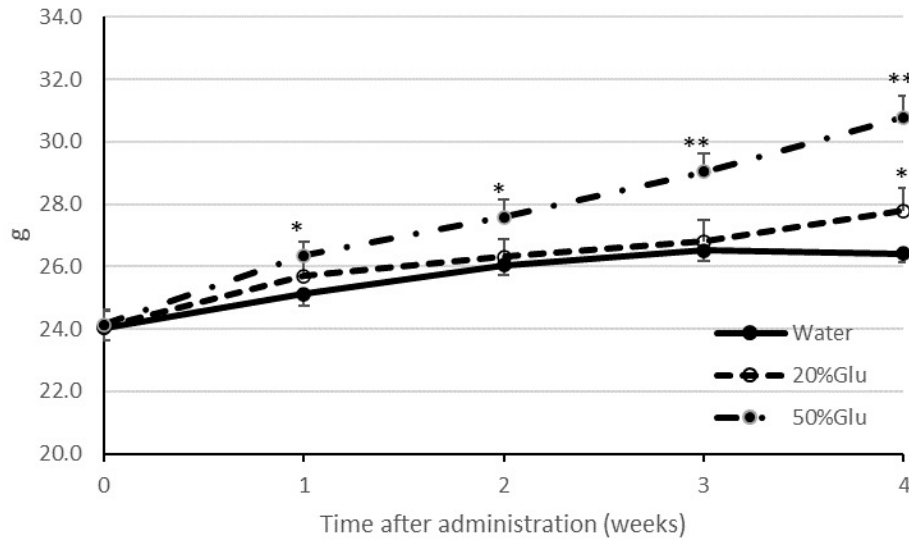
結果

結果の図は次スライドに添付. 体重, 内臓脂肪, コレステロール, 遊離脂肪酸, HbA1cはグルコース濃度に依存し有意に増加した. しかしながら, 血糖値に変動は認められなかった.

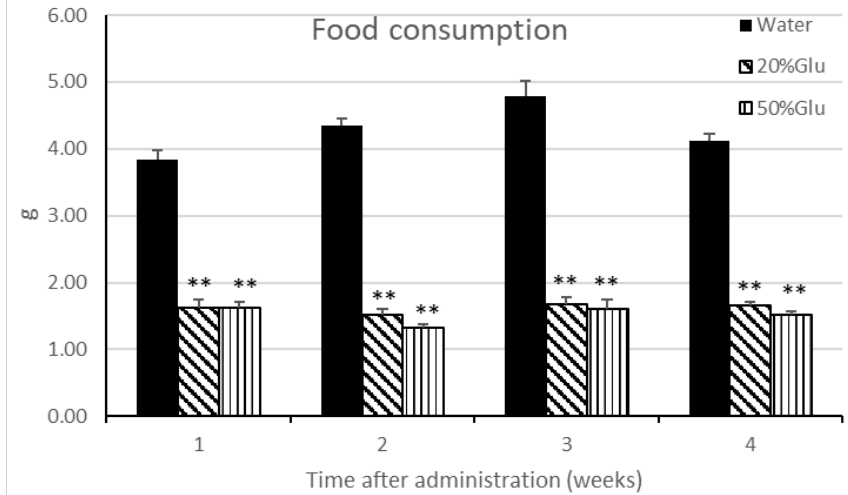
考察

飲水を通常水からグルコース溶液に切り替え, 28日間飲水させることにより, 肥満・高血糖モデルが作製できることが示された. 絶水1時間の血糖値に有意な高値は認められなかったが, 高HbA1cを呈していることから高血糖状態が維持されていたと考えられる, これらの結果から, 本方法により肥満・高血糖モデルの作製が可能であることが示された.

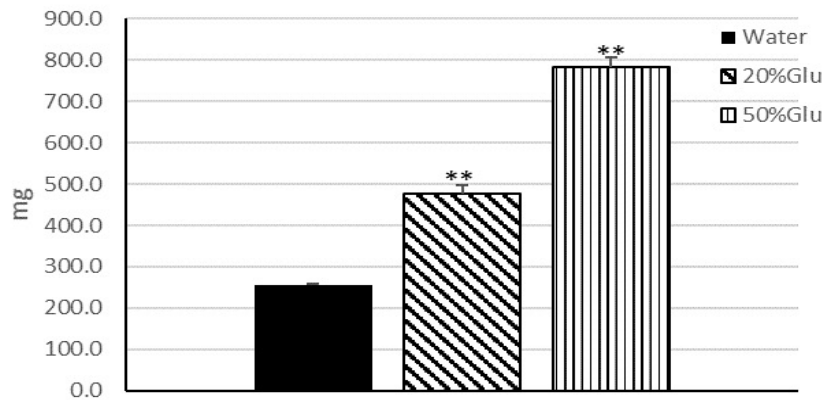
体重



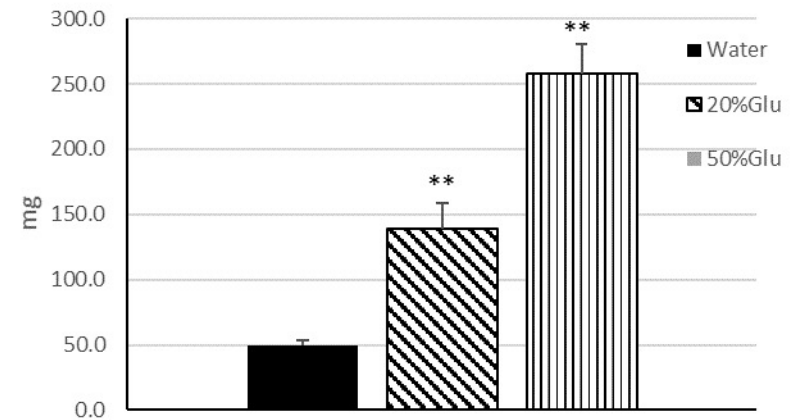
摂餌量



精巣周囲脂肪

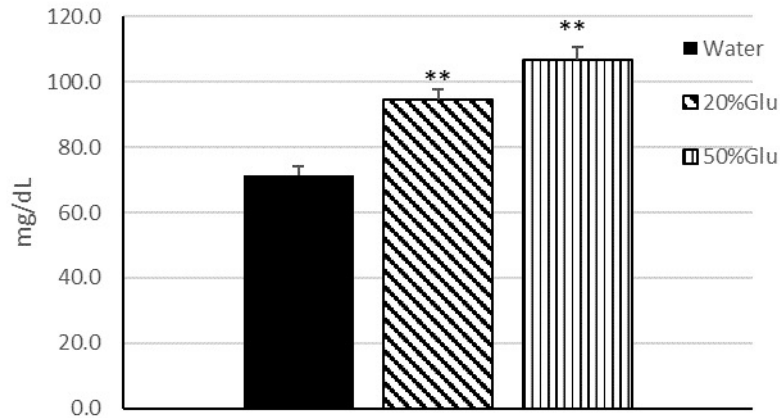


腎周囲脂肪



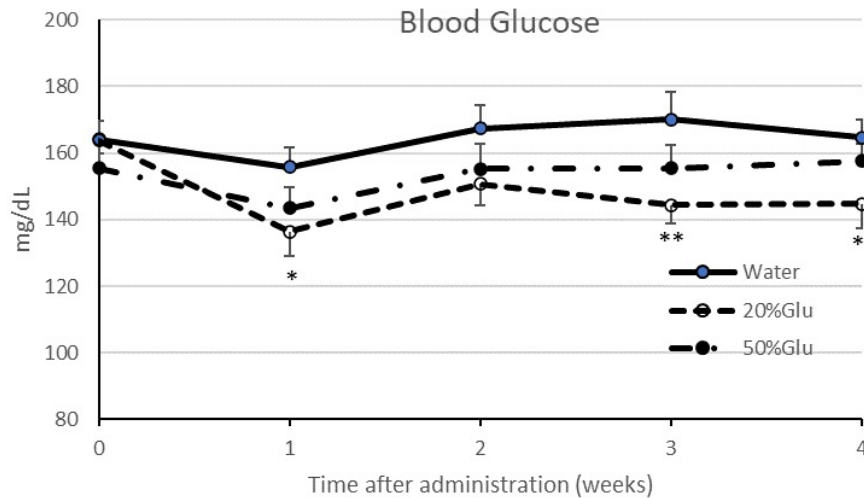
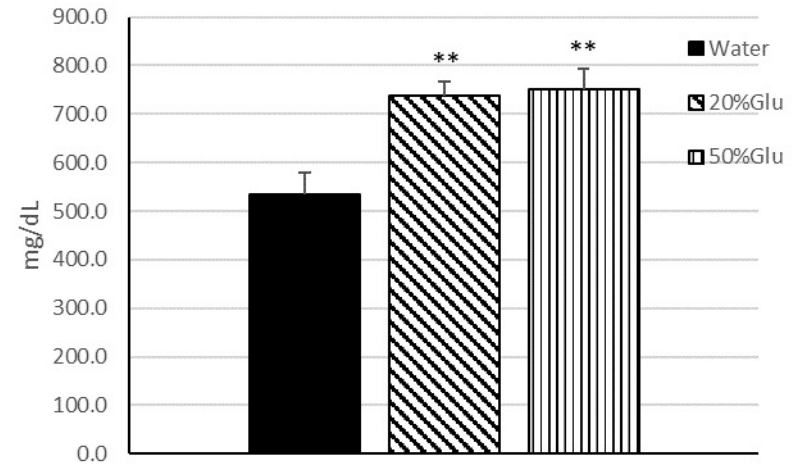
血中総コレステロール

T-cho

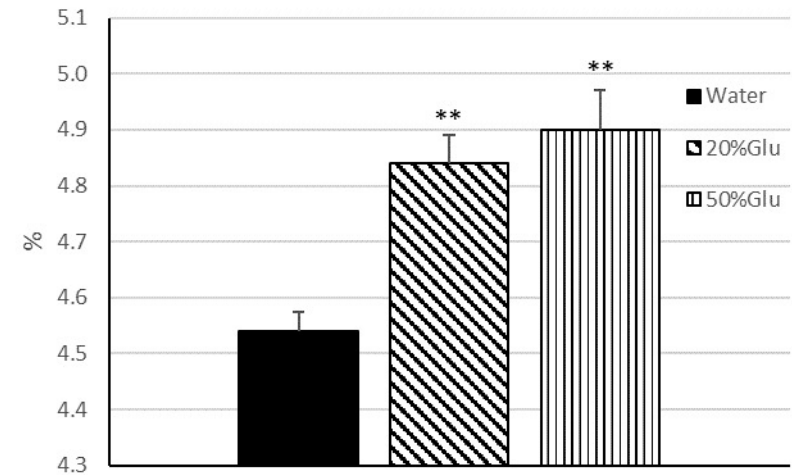


血中遊離脂肪酸

NEFA



HbA1c



本実験に限らず, in vivo動物実験に関する問い合わせは下記まで.
マウス・ラット～イヌ・ブタ・ヒツジまで

ハマグチラボプラス株式会社

茨木ラボ:大阪府茨木市西豊川町8-13

彩都ラボ:大阪府茨木市彩都あかね20番

電話:072-665-4621(代表)

mail:contact@hama-lab.com